

進路だより

令和4年度 第8号

下関南総合支援学校 進路部

令和5年 3月1日

今年の干支は、前から4番目のうさぎ(卯)です。うさぎは飛び跳ねる姿から、飛躍や向上の象徴として親しまれています。みなさんが、学校生活で身に付けた力を実らせ、勢いよく飛躍する年になってほしいです。

今回は、高等部(普通科・理療科)の進路に向けた取り組みをお伝えします。

高等部普通科前・後期実習報告会

今年度は年に1回の前・後期現場実習をまとめた実習報告会を1月19日(木)2校時に実施しました。約2年ぶりの実施でしたが保護者の方々にも参観していただき、実習に参加した全員が実習を終えた振り返りと今後の決意を堂々と発表することができました。様々な体験や多くの人とのかわりをもつ中で、コミュニケーションや相手の気持ちを考えることの大切さ、また、基本的な礼儀や達成感を味わうことができ、貴重な体験となったようです。



また、オンラインにより発表の様子をそれぞれの教室にあるモニター映像を通して見ることができ、発表者以外の人や他学部の児童生徒も自由に参観できるようにしました。中学部の生徒は先輩の様子を見て就労への意識を高めることができたようです。



「2023」県内進学・仕事発信フェアinやまぐち

高等部普通科の2名が2月14日(火)に維新大晃アリーナで開催された「2023 県内進学・仕事発信フェアinやまぐち」に参加してきました。「学校・仕事体験コーナー」、「学校案内コーナー」、「企業紹介コーナー」、「仕事紹介コーナー」など、様々なブースに分かれていて、興味のある所で積極的に話を聞いたり、体験したりしました。2時間という滞在時間でしたが、8つのブースで体験することができました。学校に帰ってきてから、振り返りを行い、生徒同士でお互いの感じたことを伝え合いました。知らなかったことを学べたり、実際に体験することでイメージができたり、とても充実した時間になったようです。



理療科 目指せ！ 国家試験 全員合格

毎年2月末に、あん摩・マッサージ・指圧師、はり師、きゅう師の

国家試験があります。専攻科は、この国家試験に合格し、本校で身に付けた技術を活かし、自立することを目指しています。

国家試験前日の2月24日、会場となる本校多目的



室でオリエンテーションが行われ、受験生は引き締まった表情をしていました。校長先生から、「自分らしく、自分の心の中のリズムを、頑張る基盤にしてほしい」と、激励の言葉をいただきました。多くの先生方から、「慌てないこと」、「気持ちを落ち着かせること」など、アドバイスをいただきました。

先生方からの励ましの言葉や、その日の給食(カツカレー)に、背中を押してもらえたことでしょう。応援、ありがとうございました。



25日に実施された「あん摩・マッサージ・指圧師試験」を、保健理療科と理療科の生徒が受けました。理療科は、それに加え**26日**に実施された「はり師試験」、「きゅう師試験」も受験し、2日間で**340問**の難題に挑みました。理療科では、模擬試験や課外授業を通して、全員合格

を目指しています。

次は、**2年生**の番です。国家試験が終わったばかりですが、2年生は来年度の国家試験に向けて、初めての校内模試を3月7日に受けます。春休み前に、自分の苦手分野や科目をみつけ、自学に取り組んでほしいです。

進路部